

『アパートの鍵貸します』 原題: <i>The Apartment</i> 1960年		執筆: 清水 純子
制作国	アメリカ	
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	<p>スタッフ: 監督ビリー・ワイルダー / 脚本ビリー・ワイルダー、I・A・L・ダイアモンド / 製作ビリー・ワイルダー /</p> <p>キャスト: ジャック・レモン: C・C・バクスター (バド) / シャーリー・マクレーン: フラン・キューブリック / フレッド・マクマレイ: ジェフ・D・シェルドレイク / レイ・ウォルストン: ジョー / ジャック・クラッセン: ドレイファス医師 /</p>	
画像		
カラー・モノクロ	モノクロ	
時間	126分	
ストーリー	<p>ニューヨークの保険会社に勤める平社員バドは、職場近くの自分のアパートを上役の逢引用に貸していた。そのためバドの評価は高く、部長ジェフもバドのアパートの鍵を借りるメンバーに加わった。部長ジェフは妻帯者だが、次から次へと会社の女子社員に手を出す癖があり、今の相手はエレベーター嬢のフランだった。バドは、あこがれているフランがアパートに落していた鏡の割れたコンパクトを持っていたことからジェフの相手であることに気づき、失恋する。純情なフランは、ジェフの正体を知って逢引の後、バドのアパートで自殺未遂する。バドの献身的介護によってフランの命は助かるが、フランはジェフとよりを戻してしまう。ところがジェフの元愛人であった秘書がフランへの告げ口を理由に解雇されたことを恨み、ジェフの夫人に悪行を暴く。夫人に追い出されたジェフはフランとの結婚準備を進める、バドはさらに昇進するが、辞任する。フランは、ジェフを捨てて、新しい町へ旅立つバドについていく決心をする。</p>	
時代設定	1959年	
場所	ニューヨークのタイムズ・スクエア、アッパー・ウエスト・サイドの安アパート。	
社会背景	戦後、ロンドンを抜いて世界の都になったニューヨークの活気あふれる経済状況、都会で機械的に働かされ管理される小市民の日常生活、都会の一人暮らしの若者の孤独。	
文化的背景	女性の職業上は補助的仕事のエレベーター・ガール、オペレーター、秘書、タイピスト、受付嬢などに限られていた。女性のゴールは結婚。会社内男性間の上下関係のたいへんさと昇進のためのごますり、結婚生活にくたびれた中年男性の不倫。	
使用言語	英語	
テーマ	小市民の不倫願望や出世願望などの隠しておきたい欲望と世間体やモラルの間の葛藤をコミカルにあぶりだす。	

みどころ	1950年代後半のニューヨークのオフィス風景、女性の社会的地位の低さ、女性の最終的砦は家庭だった、男性同士の出世争いのたいへんさ、平社員の上役へのごますりのおかしさ。富と権力のある男が強者となって力のない若い女を支配する。人の目とスキャンダルを気にする人の心をユーモラスに描く。鏡が割れたコンパクトによってバドにフランとジェフの不倫を知るところ、割れた鏡が自分の心を表すと自嘲するフランの言葉は、この作品が単なるコメディで終わらない人間ドラマの秀作であることを示す。
印象深いせりふ	SHELDRAKE: Baxter, an insurance company is founded on public trust. Any employee who conducts himself in a manner unbecoming -- (shifting into a new gear) How many charter members are there in this little club of yours? . . . That's not the point. Four rotten apples in a barrel -- no matter how large the barrel -- you realize that if this ever leaked out -- BUD: Oh, it won't. Believe me. And it's not going to happen again. From now on, nobody is going to use my apartment -- BUD: Well, after all, it's my apartment -- it's private property -- it's not a public playground.
授業教材用 メリット	20世紀中庸のニューヨークのオフィス生活がわかる、欲望とモラルの葛藤を効果的にコミカルにヒューマンに描く、機知とウイットに富んだ会話、標準的きれいな英語、ジャック・レモンのユーモアにあふれ軽妙でペースに富んだ演技、インモラルを正すモラルの健在。
授業教材用 デメリット	クリーンに見えるオフィスの裏側に潜む小賢しい欲望の存在、力あるものの傲慢さ。
映像入手元	20世紀フォックス・ホーム・エンターテイメント・ジャパン
原作の有無	無
支持反応	Rotten Tomatoes 評価（批評家 93、観客 94）
キーワード	ニューヨーク、タイムズ・スクエア、アパート、保険会社、サラリーマン、デート、不倫、逢引、オフィス・ラブ、昇進、鍵、エレベーター・ガール、オペレーター、秘書、タイピスト、結婚、離婚。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。